2026年2月15日 実施

2025年度　板橋区手話講習会進級試験　**実践コース**

（筆記試験問題）

1. 次の文章で正しいものには○、間違っているものには×を解答用紙に記入してください。

① 指文字は、日本語の「あ」から「ん」までの５０音を５本の指を使って表すものです。

② 手話の単語は、基本的に「手の形」・「手の位置」・「手の動き」の組み合わせで構成されています。

③ １９２４年にブラジルで初めて「デフリンピック（第１回夏季大会）」が開かれ、１００年の歴史を持ちます。２０２５年の第２５回夏季大会が日本の東京他で開催されました。

④ 聴覚障害になった部位により、「伝音性難聴」・「感音性難聴」・「混合性難聴」に分類されます。

⑤ 聴覚障害者における「聴力検査」は、「純音気導聴力検査」・「骨導聴力検査」・「語音明確聴力検査」の３つの検査方法があります。

⑥ 身体障害者程度等級表の中において、「聴覚障害」の場合は、６級から認定され、１級飛んで４級、３級と続き、最重度で２級とされています。

⑦ 手話には多くの身振り表現が使われているので、手話言語は身振りから発展したものという直感的な理解をされていると思います。この理解に間違いはありませんが、同じものでなく、身振りと違って、手話言語は語彙と文法を備えた言語です。

⑧ 手話は目で見る言葉です。また、手話の表現とともに、顔の表情も見ることが必要です。相手と視線を合わせてから話し始めましょう。

⑨ 「指さし」は手話表現として、目の前にいる人や実際にある物を指すだけではなく話の流れに出てくる人、物、空間の特定の方向で指さす大切な役割があります。

⑩ 板橋区手話講習会は入門・実践・専門・通訳養成の４コースがあります。実践・専門・通訳養成コースは手話通訳者を目指すためのクラスです。

2. 次の文章を読み、（　　）に当てはまる語を、下記の語群の中から選び解答用紙に記入してください。

1) デフリンピックは（①）年に一度開かれます。

2) 2006年（平成18年）に学校教育法 が 一部改正され「（②）教育制度」へと移行しました。

3) ろう学校では、長く（③）中心 の 教育 が 行われてきましたが、1993年（平成5年）に（④）は、手話を（⑤）として 認知し、教育の手段として 位置づけました。

4) 1760年に、（⑥）人の神父ミシェル・ド・レペが世界で初めてろう学校を設立し、手話で教育を始めました。

5) 9月２３日は「（⑦）の国際デー」です。また（⑧）ろう連盟が設立された日でもあります。

6) ろう者の暮らしには音を（⑨）形に変えて（⑩）をとらえるための様々な工夫があります。

ア. 見える	カ. 特別支援	サ. 手話言語	タ. 外務省
イ. 映る	キ. 個別支援	シ. 国際手話	チ. 映像
ウ. フランス	ク. 口話	ス. 4	ツ. 情報
エ. イタリア	ケ. 言語	セ. 5	テ. 世界
オ. ミラノ	コ. 読話	ソ. 文部省	ト. 全日本

3. 団体の正式名称の略称を解答用紙に記入してください。

① 一般社団法人 板橋区聴覚障害者協会

② 板橋手話サークル

③ 板橋区登録手話通訳者会

④ 「たましろの郷」板橋後援委員会

2026年2月15日 実施

2025年度　板橋区手話講習会進級試験　　**実践コース**

（筆記試験　回答用紙）

（昼（ひる）・夜（よる））　氏名（しめい）

1. 【問1】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

2. 【問2】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

3. 【問3】

①	
②	
③	
④	

2026年2月15日 実施

2025年度　板橋区手話講習会進級試験　**実践コース**

（筆記試験　解答用紙）

（昼・夜）　氏　名

1. **【問1】** 4点×10問=40点

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
○	○	×	○	×	○	○	○	○	○

2. **【問2】** 4点×10問=40点

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
ス	カ	ク	ソ	ケ	ウ	サ	テ	ア	ツ

3. **【問3】** 5点×4問=20点

①	板聴協
②	板手サ
③	登通会
④	たまいた委員会